

信じる者は救われる

シリーズ～福音の力～

2020/03/08

ルカによる福音書8章40～48節

イエスが帰って来られると、群衆は喜んで迎えた。人々は皆、イエスを待っていたからである。そこへ、ヤイロという人が来た。この人は会堂長であった。彼はイエスの足もとにひれ伏して、自分の家に来てくださるようにと願った。十二歳ぐらいの一人娘がいたが、死にかけていたのである。イエスがそこに行かれる途中、群衆が周りに押し寄せて来た。

ときに、十二年このかた出血が止まらず、医者に全財産を使い果たしたが、だれからも治してもらえない女がいた。この女が近寄って来て、後ろからイエスの服の房に触れると、直ちに出血が止まった。

イエスは、「わたしに触れたのはだれか」と言われた。人々は皆、自分ではないと答えたので、ペトロが、「先生、群衆があなたを取り巻いて、押し合っているのです」と言った。しかし、イエスは、「だれかがわたしに触れた。わたしから力が出て行ったのを感じたのだ」と言われた。女は隠しきれないと知って、震えながら進み出てひれ伏し、触れた理由とたちまちいやされた次第とを皆の前で話した。イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

全てを失い追い詰められていた女性

- **社会的**に見捨てられていた
 - 律法では「汚れた」状態であり、他の人に触れることは許されなかった(レビ記15:25-30)
- **霊的**に「不適合」とみなされていた
 - 治らなければ礼拝も許されない
- **経済的**にも**精神的**にも追い詰められた
 - 「多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった」マルコ5:26
- **肉体的**に弱り果てていた

最後の望みをかけてイエス様に

- 会堂管理者ヤイロの娘が死にかけていた
 - 彼の家に行こうとされたイエス様
- 群衆が「押し寄せてきた」
 - イエス様の奇跡を一目見ようと集まってきた？
- 決死の覚悟で群衆に紛れた女性
 - 本来は許されない行為＞命がけ
- 人混みにもまれながら通り過ぎていくイエス様を追いかける
 - 「この女が近寄って来て、**後ろから**イエスの服の房に触れると…」

癒された女性

- 「服の房」

- 「代々にわたって、衣服の四隅に房を縫い付け、その房に青いひもを付けさせなさい。…あなたたちがそれを見るとき、主のすべての命令を思い起こして守り…」(民数記15:38-39)

- 這いつくばるようにしてイエス様に触れた

- 誰が触ったか分からないほど押し合っていた
- 足の間から手を伸ばし何とか触れることができた

- その瞬間、直ちに癒された

- 彼女自身、癒されたことを感じた



あなたの信仰があなたを救った

- イエス様は何かが起こった事を感じられた
 - 「だれかがわたしに触れた。わたしから力が出て行ったのを感じたのだ」
- 事の次第を話した女性
 - 「女は隠しきれないと知って、震えながら進み出てひれ伏し、触れた理由とたちまちいやされた次第とを皆の前で話した。」
- 彼女の信仰をほめられたイエス様
 - 「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

彼女はなぜ救われたのか

- 彼女はただ癒されただけではない**救われた**
 - 肉体的に癒された
 - 社会的・経済的・精神的に回復された
 - **霊的に回復された**: 神様との関係
- 彼女が救われたのはイエス様の十字架による
 - 彼女の出血は止まったが、イエス様は十字架で**彼女のために血を流された**
 - 彼女は回復されたがイエス様は**父なる神様に見捨てられた**
 - イエス様の十字架が彼女を神様をつないだ

信じる者は救われる

- イエス様だけに希望を置く
 - 彼女の場合、追い詰められていたことがむしろ幸いした!
- イエス様の**十字架**だけが唯一の道
 - 「イエスは言われた。『わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。』」ヨハネ14:6
- 信じる者は救われる
 - 「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。」ローマ1:16